

社会保険労務士 「1社に1人を」

県社労士会が総会

県社会保険労務士会（会員1974人）は6日、さいたま市中央区で通常総会を開いた。役員、代議員ら150人が出席し、2023年度事業報告、決算報告、24年度事業計画、予算案などを承認した。

澤田裕二会長は「中小企業は円安、物価高、資材不足、賃金上昇などでかなり苦しんでいる。経営者の良きアドバイザーとして寄り添い、経営の維持発展に寄与して。また、県民の誰もが労働社会保険関係、働き方改革、年金の身近な専門家として社労士を

思い浮べ、そうした問題は社労士に任せておけば大丈夫と言ってもらえるようにしたい。一社に一人、社労士がいる時代の実現に向けて行動していく」とあいさつした。

議事に先立ち、来賓の武田康久・関東信越厚生局長と片淵仁文・埼玉労働局長が祝辞を述べた。（金子年一）



あいさつする県社会保険労務士会の澤田裕二会長。6日、さいたま市中央区のホテルブリランテ武蔵野